

# 本校へ道外から推薦入学者選抜により出願しようと考えている生徒・保護者の皆さんへ

北海道標茶高等学校

本校総合学科は、人の暮らしと言葉、自然環境とガイド、乳牛と食品を体験的に学ぶことができます。この体験的な学びを通して、自ら学び他者の考えを尊重し合う学習活動により、知識を活用できる学力を身に付け、社会に目を向ける人材を育成するための特色ある教育課程を編成しています。

また、本校総合学科は、「令和5年度(2022年度)道立高等学校への道外からの出願に係る入学者選抜実施要項」により、道外からの推薦入学者選抜による出願を受け入れる対象学科となっています。

道外から推薦入学者選抜により本校への出願を考えている生徒・保護者の皆さんには、次の1、2を参考にした上で、詳細について本校担当者までお問い合わせさせていただきますよう、お願いします。

<問合せ先>  
 〒088-2313 北海道川上郡標茶町常盤10丁目1番地 電話 015-485-2049 (担当者:教頭 漆原 剛)  
<http://www.shibecha-h.ed.jp/>

## 1 令和5年度入学生教育課程(案)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次	必修																選択必修		必修											
	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ (習熟度別)	数学A (習熟度別)	科学と人間生活	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ (習熟度別)	情報Ⅰ	農業と環境	産業社会と人間	LHR														

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2 年次	必修											選択科目(16単位)										必修								
	現代の国語	言語文化	地理総合	体育	保健	家庭基礎	国語表現	倫理	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	生物	生涯スポーツ	英語コミュニケーションⅡ	論理表現Ⅰ	情報演習A	情報演習B	総合的な探究の時間	LHR										
	食文化	自給ガイド入門	異文化理解A	総合実習	農業と情報	食品製造	食品化学	生物活用	園芸作物	緑地環境Ⅰ	畜産	農業機械	流通基礎																	
	渾原の科学	自給ガイド応用	異文化理解B																											

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3 年次	必修				選択科目(22単位)																必修									
	歴史総合	体育	論理国語	古典探究	表現研究	文芸深読	倫理	政治経済	社会教養	数学Ⅲ	数学B	数学C	数学教養	数学探究	化学基礎	化学	生物	英語コミュニケーションⅢ	総合的な探究の時間	LHR										
	英語教養	情報演習A	情報演習B	野菜	草花	農業経営	農業機械	畜産	畜産実習	食品化学	食品製造	食品微生物	食品流通	緑地環境Ⅱ	土壌肥料	食品加工	食品研究	生活と福祉	生活教養											

## 2 道外から推薦入学者選抜により出願する生徒に、入学後、選択して学習してほしい教科・科目

(「令和5年度(2023年度)道立高等学校への道外からの出願に係る入学者選抜実施要項」の「3 出願資格」の留意事項4における「当該の高等学校が別途示す教科・科目」)

<2年次>

[農業(教科名)] 農業と情報(2単位)、食品製造(4単位)、食品化学(2単位)、生物活用(2単位)、園芸作物(2単位)、緑地環境Ⅰ(2単位)、畜産(2単位)、農業機械(2単位)、食品研究A(2単位)、流通基礎(2単位)

---

<3年次>

[農業(教科名)] 野菜(2単位)、草花(2単位)、農業経営(2単位)、食品化学(2単位)、食品微生物(2単位)、食品流通(4単位)、緑地環境Ⅱ(2単位)、土壌肥料(2単位)、畜産(2単位)、畜産実習(2単位)、農業機械(2単位)、食品製造(4単位)、食品加工(2単位)、食品研究(2単位)

※ 1の教育課程表において、緑色で着色された科目です。  
 ※ 「単位」とは、高校において、科目等の学習時間を測る尺度として用いられるものであり、例えば、50分の授業を35回受けたときの学習時間量が「1単位」に相当します。